



音楽好きな友の会
<http://ontomo.jp/>

「元住吉ミュージック・フェスティバル」を開催する「音楽好きな友の会」と「motton club」とは

東急東横線、元住吉駅の商店街で、「レコードを聴きながらお酒を、焼きそばを」と言う店がありました。そこに集う音楽好きの人々はノンジャンルの方々と、共通なのは昔の真空管が再生してくれる“アナログ・サウンド”の柔らかい音楽を聴こうと言うことでした。ところが残念な事にある日、閉店になってしまいました。

そのお店の常連客の中から「自分たちでレコードが聴ける場所を作れば良いのでは!!」と、音楽鑑賞趣味の会を発足、名付けて「音楽好きな友の会」通称「音友会」が誕生したのです。

会合を持つにつれ「たまにはレコードで聴いている音楽を、生楽器の演奏で聴きたいね」と欲が出てまいりました。そして、「元住吉の気軽な音楽会」をテーマにしてライブ演奏会を始めました。街の喫茶店や商店街の路上では、「街角投げ銭ライブ」とサブテーマを設けたりしています。実は本当にありがたい事に、それらの多くの出演者の方々は「音友会」が非営利の趣味の会として認めていただけにボランティア演奏で参加していただきました。

長い間レコード鑑賞会やライブを続けていると元住吉には「川崎市国際交流センターの大ホールがある!」、「川崎唯一の野外音楽堂がある!」と言う事で元住吉と言う土地柄はランドマークとなる音楽開催施設もあって、音楽の発信が出来るのではないかと2019年4月に音友会

の5周年も相まって「元住吉ミュージック・フェスティバル」を企画するに至りました。

第1回の出演の方たちは「音友会」の知人やその友人と言った皆様にお願ひしました。256席と言う大きな川崎市国際交流センターの大ホールをお客様で埋められるか。そういう難題にも直面しました。出来るだけ地元の音楽好きな方たちに来ていただきたいと入場無料とし、地元町内会や商店会に協力を仰ぎ、なんとか160名という観客動員に成功しました。結果は自分達も演者の皆さんも驚きました。やってよかったな。アンケートでも圧倒的に定期公演を望まれました。

一方、参加の演者の中から、自分たちで積極的に演奏の場を創る、あるいは演奏家だけでなく音楽を通して関わるスタッフ達が情報交換をしたり、一緒になってライブ演奏の場を創って行こうと姉妹組織「motton club」も誕生しました。できれば全国のミュージシャンをウェブサイトを利用してネットワークし、それを利用して各々が情報発信できれば素晴らしい。そんな大きな夢もあります。

これらの組織が地域の様々な団体、音楽好きな市民の協力を得て発展して行けるよう私たちは努力して行きたいと思ひます。また、これらの組織は誰もが参加できます。ぜひ、一緒に音楽を楽しみ暮らしを充実させて行きませんか。

音楽好きな友の会代表 塚田 親一

第2回元住吉ミュージック・フェスティバル 出演予定者の記録



▲2020年2月24日に行われた「参加バンド代表者説明会」での記念写真
(於・川崎市国際交流センター・ホール)



おっとん
「音友会」キャラクター



MOTTON CLUB
mottonclub.com



第2回 元住吉ミュージック・フェスティバル 演奏予定メンバー!

MC 雨海 智和



1982年生まれ。千葉県出身。20歳の頃、声優を志し、養成所に入所。26歳の時に、舞台に立つ。それ以降、声のみならず身体を使った演技そのものが楽しくなり、縁もあって様々な舞台に出演する。ナレーションの仕事をつっかきに声を使う表現を突き詰めていく。現在、声優、ナレーター、そして朗読家として活動している。

③李 宛然(リ エンゼン) (ギター弾き語り)

世界の音楽を弾き語りで歌います。

母国語が広東語で、香港出身ではありますが、小さい頃から各国の文化にはまっています。音楽から始め、外国の文化をもっと理解できるようになりました。今回の機会を通して、外国音楽文化の魅力を日本の方に届けたいと思いますので、ジャンルの違う曲をギター弾きながら歌います。



⑥ECO (ボーカルバンド)

「オシャレな音楽」のJUKEBOX



それぞれが別の活動をしてきて模索しながらも音楽を続けた私たちがECOというバンドで今新たな「オシャレな音楽」の可能性に挑戦している。アコースティックで奏でる多彩な音にパワフルなボーカルの歌と、共に重なる3人のハーモニーが魅力のバンドとなりました。

①さかな同好会 (音楽朗読ユニット)

"響き合う物語を"

声優・朗読家の雨海智和とシンガーソングライター牧野くみの、本が大好きな2人による音楽朗読ユニット。「朗読とピアノ」というシンプルな編成で、大きな感動をお届けすべく活動中。オリジナル脚本&オリジナル曲にも挑戦しています。



④川崎Saxobongo (サクソファンサンブル)

音楽でまちを盛り上げる!



2018年、プロサクソカルテット[Saxophobia]の楽曲を演奏するサクソだけのワークショップジャズアンサンブルとして、ライブハウスのジャムセッション仲間を中心に川崎で結成。その年のかわさきジャズに出演し好評を博す。2019年吉祥寺サムタイムにて単独ライブ開催。その他、吉祥寺音楽祭、狛江駅前ライブ、定禅寺ストリートジャズフェスティバル等に出演し、まちを音楽で盛り上げる活動を行っている。

⑦寿限無 虹の翼 (ゴスペル)

Love & Light & Harmony!



歌うことが大好きな女性たちで2003年に発足した寿限無 虹の翼。ディレクターLove light史江を中心に、ゴスペルの持つメッセージとハーモニーを通して、喜びや感動を伝えたくて活動しています。一人一人の魂が、愛と光で輝いていることを思い出せますように。

②Chiaki (奏音)

小型の新しい琴「奏音(かのん)」で弾き語り

幼少より生田流箏曲に親しむ。日本の音楽のルーツに興味をもち、大学ではインド・パキスタン語科専攻。子育ての中で出会った「こどもの本のみせ ともだち」で読み聞かせボランティアを始める。その活動の中で琴演奏の機会に恵まれ、音楽とおはなしの会「風と子どもたち」を主催。現在は小学校図書館司書の傍ら、琴弾き語りや、外国にゆかりのあるゲストを招いて、平和のための「世界ともだち」イベントなどを行っている。



⑤トロピカルサウンズ (スチールギター)

スチールギターで奏でる癒しのサウンド。

学生時代にハワイアンバンドに誘われウクレレとスチールギターを担当し、ピヤガーデンやダンスパーティで演奏していました。社会人になって休止していましたが、数年前にスチールギターを再開し、老人ホームや介護施設を慰問しています。最近、ハワイアンレストランでラウンジ演奏も行っています。一つ一つの音を大切に弾くことを心がけてます。スチールギターの優しい音色で楽しい時間を一緒に過ごせればと思っています。



⑧後藤いちご (声楽&ギター)

後藤いちご〜歌とギターの調べ
クラシック・ポップをギターで歌う「愛と故郷

クラシック・童謡・ポップ「愛とふるさと」にちなんだ心に響く懐かしい曲をギターアレンジで歌います。皆さんも一緒に歌いましょう。ソプラノ:いちご、ブライダル歌手(藤原歌劇団所属)。コーラス:さより&よしこ
ギター:かつらけいのすけ(作詞、作曲、編曲)
著作最新版ブルースハープの教科書(YMM)



⑨J's (ビッグバンド)

私たちと一緒にスウィングを楽しみましょう!
Let's have fun together!!

私達はJAZZを中心に多彩なジャンルの音楽を幅広い年代で楽しんでいる。神田宮地楽器の音楽教室の社会人ビッグバンドです。年に数回このような機会を頂き演奏しております。結成当時の先輩方から受け継いでいる「楽しくなければJ'sじゃない!」をモットーに、演奏する私達と一緒に、聴いて頂く皆様も楽しんで頂けたら嬉しいです。心を込めて全力でお届けします。



⑫Akiko&Youko (ボサノバ)

癒しのボサノヴァ弾き語り女性デュオ。



ブラジルのボサノヴァ音楽をこよなく愛するギター弾き語り女性デュオ、Akiko & Youkoです。ボサノヴァ教室で知り合いナイロン弦の優しいギターサウンドのデュオを結成。演奏しながらポルトガル語、英語、日本語の3カ国語を交えて歌っています。爽やかな海辺の風のようなボサノヴァ・サウンドのなかに、2人の声を重ね合わせ、女性デュオならではの、美しいハーモニーを作り出しています。現在、都内、川崎を中心に、カフェレストランでLIVE活躍中です。

⑮FUKA2 (ジャズコンボ、ボーカル)

天使が舞いおります!
素敵な歌声をオリジナルアレンジで!

FUKA2(フカニ)と申します。中学生とおっちゃんのパックで歌う2人の女性ボーカルが主役のアコバンドです。昭和歌謡から最近のJPOPまでを中心に、ツインボーカルがのびのびと歌えるアレンジで演っています。みなさんがご存知の曲もたくさんあります!笑いあり、涙あり??の楽しいライブ!是非聴きにきてください!



⑩Flying Pigs Quintet (サクソファンサンブル)

サクソとドラムによるジャズアンサンブル

横浜を中心に活動するFlying Pigs Big Bandのサクソメンバーによるカルテットで、横須賀芸術劇場オープンデーに2度出演。3年目の2020年、BRIHAMOのドラマーを迎えクインテットとして演奏の場を広げるべく活動しています。Sopnano Sax 池上香織 / Alto Sax 南條雄大 / Tenor Sax 松浦裕平 / Baritone Sax 荘田倫央 / Drums 山内潤



⑬hibiki (ピアノソロ)

"No Jazz No Life"



神奈川県横浜市出身。2002年生まれ。2歳よりピアノ、7歳より作曲を始め、以降独学で習得。中学時代に聴いたモダンジャズやコンテンポラリージャズに影響を受け、ジャズピアニストを志す。2019年10月にトリオ[Mundus Alius(ムンダスアリウス)]のピアニストとしての活動の他、地元横浜で精力的に音楽活動を展開している。

⑯jaja (ジャズカルテット)

ジャパニーズジャズ。



2004年ホリプロよりデビュー。HMV、JAZZ部門・ネット予約1位・発売2週間セールス1位。2005年CDデビュー。韓国チャラ島ジャズフェスティバル、マレーシア「ペナン島ジャズフェスティバル」。2006年WHDエンターテイメント&ピクチャーよりメジャーデビュー。同年2ndアルバム発売、アドリアアワード国内ニュースター賞を受賞。タイジャズフェスティバル。2007年アドリアアワード国内ベスト・ジャズフュージョン賞を受賞。

⑪ミニッツ (オカリナ&ギター+他)

色々な楽器で描く音楽のハーモニー。



沢山の楽器と笑いの世界、ミニッツです。正統派ギター弾き語りの夫に、ピックリ箱から飛び出す鳴物・吹物で楽曲に彩を加える妻。オカリナで愛を叫び鍵盤ハーモニカで風景を描き、ユーモアたっぷりな独自の演奏スタイルでジャンルを超えた様々な楽曲を演奏します。夫婦で作ったオリジナル曲は感謝の気持ちを伝えたいメッセージ。歌謡曲や名曲は、皆様お馴染みのナンバー。会場の皆様と音楽で一つになれるステージを目指します!

⑭永瀬 晋 (ブルースギター)

ブルースロック・ピン芸人。

弾き語りとは思えない高度な楽器演奏と低音ボイスを駆使した弾き語りとは絶妙。ロック、ブルースを軸に様々なジャンルを混ぜたスタイルが専門誌、メディアで称賛、オーストラリアのMATON「メイトン」ギター使用アーティストとしても掲載。ギターデュオ「ナガタク」で2枚のインストゥルメンタルアルバムを、2017年ソロアルバム「Guitar Vagabond EP」を発表し本格的なソロ活動を開始。演奏活動の他、元住吉の音楽教室ソウルーヴ・ミュージックスクール代表を務める。



元住吉ミュージック・フェスティバル 実行委員会

元住吉駅周辺の音楽愛好家や当地と関わりがあるアーティストと一緒に運営しています。昨年の第一回は、手探り状態でした。今回は一般公募となり「応募していただかなかったら」の不安をよそに沢山のアーティストから手を上げていただきました。制約の中、参加できなかった方には大変申し訳なくお詫びします。私たちは楽器演奏そのままの楽しさや大切さを実感していただき、地域コミュニケーションの一躍を担いたいと考えています。

